

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営			
	1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者様の目線で、理念を検討しました。星取は、山手にありますが周囲は住宅地と緑に囲まれ、理解ある地域の皆様の支援があります。パンフ・おたよりにも地域の皆様との交流を盛り込んでいます。	○	今後もパンフや毎月のおたよりの中に地域の皆様との暮らしを盛り込み理念を実践していきます。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○日常で(特に毎朝の申し送り)、情報共有・理念に添ったモニタリングも同時に行い、「報連相」ノートにより全体に返し意見交換しています。○毎月、理念の実施を念頭にケアカンファレンスを実施しています。	○	職員の良い実践・気になる対応、入居者様・ご家族の言葉など「笑顔箱」に入れてもらい、毎月学習・振り返りを行い質の向上を図るようにしました。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○毎月「おたより」を発行し、ホームの様子を伝え、理解を得る努力をしています。○2カ月毎の運営推進会議で自治会代表・地域の方々にも参加して頂き交流を図ると共にご意見を頂き相互理解に取り組んでいます。○地域の健康友の会班会時、認知症の学習会を3回実施しました。	○	ご意見を頂きながら、継続していきたいと考えています。
	2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○全職員が、日常の挨拶に心掛けています。昨年の5月の開設時には、皆様に見学に来て頂きました。又、地域の方のお力で庭を造ることもできました。夏祭りの際は、踊りの指導もして下さいました。子供さんが遊びに来られることもあります。	○	今後も継続していきます。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入居者様全員入会しています。星取夏祭りの際は、踊りの指導を1カ月前よりして下さい入居者様全員ご家族・ボランティアの方々と共に参加させて頂きました。餅つきも参加し杵打ちでは職員が体験させて頂きました。	○	今後も地域の一員として交流・参加していきます。
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の健康友の会班会時、認知症の学習会を3回実施しましたが、在宅介護の相談もありました。併設のデイサービスと協力し、地域の相談に応じていこうと話し合いました。	○	相談活動を行っていることについて地域に発信していきます。(おたより等を通じて)

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を各職員に記載してもらい、それをもとに面接を行いました。そこで、職員の建設的意見・改善点・個人の目標なども見出せたと考えます。	○	「笑顔箱」「図書の整備」他取り組む内容が明確になりました。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	07年度の5月開所から、5回の運営推進会議を行いました。毎回10人前後の参加で、スライドを通し日常生活をお伝えし取り組み(看取り・感染症などなど)折々の問題・課題をお伝えしご意見を頂いています。実践したことは、次ぎの回でご報告させて頂いています。	○	定期開催し、皆様のご意見を反映させていきたいと考えます。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	①ターミナル期の入居者様についての相談については、市の担当者・包括支援センターにも相談。他の事業所の紹介を受け訪問させて頂いたり、全体学習に来て頂いたり、方向性を出す事が出来ました。②毎月「おたより」を送付しています。	○	①今後も、頼りにして相談していきたいと考えています。②継続していきます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市の研修会には参加し学習しています。	○	ご家族・親族がいない方がお一人おられ、今後必要です。
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法については、法人でも職員全員参加で学習会を行いました。また研修会にも積極的に参加し、全体討議・事例検討しています。	○	「笑顔箱」により、気づきを全体学習・個別面接していきたいと考えます。
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・他資料に基づき説明し理解・納得を図っています。	○	今後も必要に応じて見直しを行いながら、十分納得・理解が得られるよう努力していきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○「ご意見箱」「笑顔箱」直接お受けした入居者様・ご家族のご意見は、フィードバックしています。	○	諸々のシステムを機能させて、風通しを良くし、入居者様の暮らしやすさを高めていきます。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「日常のご様子」(個別)・「おたより」を発行し状況をご報告すると同時に面会時・必要時は電話にて連絡しています。職員の紹介は「おたより」に載せました。	○	今後も継続していきます。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常で、ご面会の時など要望や気付いたことがないか常々お伺いしています。「ご意見箱」へも気軽に入れられるようペンと用紙を一緒に置いています。	○	近々アンケートを実施し、ご家族の皆様・地域の方・併設デイのご意見を伺いたいと考えています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や、日々の職場の中で運営や新しい入居者様について相談し意見を聞いています。	○	開かれた職場運営を行っていきます。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	季節の外出の折りや必要時には、スタッフの数を増やし、ご家族様やボランティアの協力を受けたり、勤務時間の調整をしたり柔軟に取り組んでいます。	○	ご家族様との外出の折、ご家族様が不安であれば援助を行うこともあります。入居者様やご家族様の要望にお応えする努力をしています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	昨年5月開所で、多くの入居者様が新しい環境への馴染みが課題でした。スムーズに打ち解けていかれた方・ご家族の協力を得た方・心療内科と連携をとった方など個々の計画がありました。職員の移動は最小限にと考えていますが、その時は情報提供・指導を十分行い配慮していきます。	○	職員の移動は最小限にと考えていますが、その時は情報提供・指導を十分行い配慮していきます。
	5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体では、主任研修・中堅研修・新入職員研修が各定期的に行われています。ホームでは、職務基準書で自己評価、目標を立てるようにしています。研修は積極的に受けて頂いています。「笑顔箱」を設け、良い取り組みを全体の物に・・・と取り組んでいます。	○	職員全員、認知症介護実践者研修受講の予定ですが、なかなか当たりません。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○グループホーム協議会の担当者を中心に企画参加し、勉強会・親睦会に積極参加しています。○グループホーム看護師有志の集まりに参加し情報交換・親睦を深めています。	○	今後も継続していきます。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○法人の共済の健康キャンペーン・食事会などに参加し相互交流を図っています。○法人や他研修会のメンタルヘルスケア学習会に参加 ○「報連相ノート・笑顔箱・日常の話し合い」の中で何でも言え、実践に移せる状況に取り組んでいます。○年休・生休など希望でとりやすくしています。	○	今後も継続・発展させます。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○「笑顔箱」で互いの良い所を広め意欲を高めています。○研修の案内は回覧し希望をとったり、勧めたりし、全員が参加できるように努めています。	○	今後も継続していきます。各自で学びたいとの要望もあり、図書を整備を来年度は行いたいと考えています。
	Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	依頼されたご家族様と相談し、出来る限り訪問したり来訪頂き、ご本人様との信頼を築き・ご意見、ご希望をお聞きするようにしています。	○	今後も継続していきます。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所される・されないに関わらず、ご相談のある時には、随時時間をつくり承るようにしています。	○	今後も継続していきます。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族・ご本人様にとり、何が必要か見極め、ご相談を受けています。その際、担当のケアマネージャー様・関連機関様との連携等も視野に入れ対応に努めています。	○	今後も継続していきます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者様の生活用品・馴染みの物など居室を事前に準備し、(ご家族様・ご本人様と一緒に)入居者様の居場所をまず確保しています。ご希望があれば、日帰り体験ができます。	○	ご家族様・ご本人様と相談しながら今後もお迎えします。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	水分補給時の飲み物の選択・更衣時の衣類の選択・行動の選択・・・ご本人様の意思を重視・尊重し、普通の生活が出来るよう支援しています。喜怒哀楽、それぞれの思いを大切に共有し学ばせて頂いています。	○	今後も、入居者様の笑顔がいつもあるように寄り添いたいと考えます・
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月、「日常のご様子」「おたより」をお渡しし日常を共有して頂いています。毎月の外出の際もお誘いし共に楽しんで頂けるよう企画しています。	○	今後もご家族が入居者様と共に居る時間を大切にし、企画継続していきます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	アセスメントやご家族・入居者様とお話の中で理解させて頂き、ご面会の折は飲み物を出しゆっくり和やかに過ごして頂くよう配慮しています。	○	今後もご家族の輪を大切に支援していきます・
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様やご家族の希望があれば、散歩や外出の折り立ち寄り、面会時は写真を撮りお送りしたりしています。又、看取りの際は、遠いご親族との電話・近いご友人へ連絡し訪問して頂いたりすることが出来ました。	○	今後も入居者様の視点に立ち支援に努めます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	朝のバイタル測定・体操、午後のおやつ時間など全体で和やかに過ごす時間を共有し相互理解を深めて頂くと共に、互いに助け合ったり教えあったりされています。必要に応じ、席の交換を行い、よりよい関係を保つようしています。	○	孤立することなく、穏やかに過ごすことが出来るよう支援します。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	対象の方はいません。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の希望により、ホームで看取りを行いました。	○	遠方のご家族との連絡。スタッフの思いを確認。他ホームへの研修・終末期DVD個人学習・全体学習((他ホームより講師を招き)。医療連携の確認。など行いご友人の訪問を受け穏やかな時間を過ごされました。馴染みの職員・友人・入居者様でお見送りしました。今後も入居者様の側に立ち努めていきます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族にご協力をお願いし、センター方式の形式で情報を集めています。又、暮らしの中で これまで行ってきたこと・続けたいことを察知し確認・実施できるよう努めています。	○	お仏壇の参り方など、個性があり(毎日、お茶・ご飯を供える方、命日・お彼岸にお供えをされる方・折々でご希望される方など、個々の想いに応えています。)
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	朝食は、それぞれの方の時間で摂って頂いています。毎朝、バイタルチェックを行い体調把握。状況については、随時申し送りをし、全体把握しています。	○	今後も全スタッフが総合的に状況を把握し入居者様の暮らしを守れるよう努力していきます。
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様が心地よく安心して暮らす視点から、ご本人・ご家族・職員・関係者により計画・作成しています。	○	現場で、改善できることは話し合いすばやく対応します。職員のアイデアを反映し、計画作成・実践していきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じた時点で、見直し実施しています。状況については、毎月ご家族へお知らせすると共に、面会時などにご意見をうかがっています。	○	見直し時は随時明文化し、現状に即した計画を作成・実施していきます。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	「管理日誌」「週間ケア記録(介護計画表)」「経過記録表」「報連相ノート」で、情報交換・見直し・実践を行っています。	○	記録方法については、今後も見直しながら介護計画とリンクした内容・工夫を追求していきたいと考えています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医の内科・歯科からは2週間に1度定期往診があり、健康相談が随時来ています。他の診療(眼科・皮膚科・心療内科)へは、ご家族に相談の上、支援しています。	○	将来的には、短期利用共同生活介護にも取り組みたいと考えています。
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	生け花教室を地域の先生のボランティアで月1回行なっています。又、民生委員さんが踊りの指導をして下さり地域夏まつりに参加しました。	○	今後も、継続していきます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	外出をご希望のN様は、毎週土曜日に(身障っを使い)外出ヘルパー支援を受けています。	○	今後も、継続していきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議で助言を頂いています。又、看取り時や、医療依存度が高くなる入居者様についての相談などさせて頂いています。	○	今後は、後見人制度についても相談していきたいと考えています。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に希望をお尋ねし、適切な医療が受けられるように支援しています。	○	今後も継続していきます。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	心療内科へは、月1回又は必要時受診し相談しています。	○	今後も継続していきます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員も介護者として仕事をしており日常の把握・健康管理・指導・援助を行っています。	○	今後も継続していきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	常に相談できる診療所・病院があり、安心して、又、早期退院に向けての協働・情報交換・学習支援も受けられます。	○	今後も入居者様が入院時は、安心してすごせるよう連携していきます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	最期の時まで慣れ親しんだ環境で穏やかに過ごして頂きたい。・・という想いがあります。ご家族・医師・職員と繰り返し話し合いをしながら方針を共有しています。	○	今後も、入居者様のご希望に沿えるよう努力していきます。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期の入居者様が日々をより良く暮らせるために、「できること・できないこと」できないならば、何が必要か見極め、協力医と共にチームとしての支援に取り組んでいます。	○	「慣れ親しんだ環境で穏やかに過ごしたい。過ごさせたい。」(I様・ご家族)「穏やかに過ごしてほしい。」(職員)その想いの中で医療依存度が高くなった入居者様の受け入れに現在、取り組んでいます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事例がありません。		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	申し送りや会議は入居者様も参加して頂き実施しています。それは、隠れてするものではないからです。入居者様が悩んでいること・つらいことも含め、その時意見をお聞きしながら助めています。	○	今後も、入居者様に寄り添い申し送り・会議を行っていきます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	選択できる言葉かけを行い、想いを表情や言葉で表現できる場面を作るようにしています。それぞれの方への話し方・対応の仕方は変えて支援しています。	○	今後も情報交換しながら、入居者様が安心して暮らせるよう努力していきます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の9時頃からバイタル測定・朝の交流(体操)・ティタイムとある程度の流れがあります。ご本人様の拒否があれば強要はしていません。ほぼ参加され、参加することでお互いを知り合い関係が築かれています。その日のしたいこと等お尋ねしています。	○	今後も、お一人お一人のペース・時間を大切に希望に添い支援していきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者様のご希望の理容師さんに2カ月に1度来て頂いています。美容院がご希望である時には予約してきました。又、衣類についても買い物に出掛けご自分で選び購入しても頂くこともあります。	○	今後は、さらにご要望をお尋ねして、個別の対応に努力していきます。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人お一人の出来ることを見極めながら、お願いをしています。職員も入居者様と一緒に食事を摂り楽しんでいきます。	○	楽しみながら作業に参加できる機会づくりに取り組んでいきます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご希望時には好きなビールをお出ししています。皆様お饅頭がお好きでよく一緒に作っています。	○	今後も、嗜好を楽しんで頂くよう支援します。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オムツは出来るだけ使わないようにし、誘導や入居者様のサインを読み取り支援しています。	○	入居者様の力・排泄パターン・習慣を活かし今後も取り組みます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者様から、現状でのご不満はありません。入浴は最も皆様が楽しみにしている事ですので、お一人お一人が気持ちよく入れるよう情報交換しながら努力しています。	○	今後も、入居者様の声を聞きながら、ご要望に応えていきます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その時々状況に応じて、臥床して頂いたりしています。	○	一人一人の生活習慣を汲み取り安心して休息できるよう支援していきます。
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・生け花教室を月1回実施し希望の方が参加しています。お花は全員に配られ居室を飾っています。・職員が編み物をしてると、入居者様が興味を示され連鎖的に6名の入居者様が編み物に熱中するという事態となりました。2本編み棒を皆様が上手に使われるのを見て本当にビックリしました。・リクエスト食	○	お一人お一人が生き生きとした生活が営めるようアンテナを張り巡らせ支援していきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	7人の方が財布を持っておられます。中身については、ご家族とご本人管理です。なるべく使いたい時に使えるよう支援しています。	○	今後も継続していきます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日中の職員の数を増やし、入居者様のご希望に添い支援できるよう取り組んでいます。	○	今後もその機会を増やしていくよう努力します。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月、入居者様のご意見を聞きながら外出を企画しご家族やボランティアさんに呼びかけ参加頂いています。	○	今後も継続していきます。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば可能です。現在、電話を希望される入居者様がおられますが面会が月数回あり、仕事をされており、ご本人様も電話したことを忘れ、電話をまた希望ということもあるのでケースバイケースで判断しています。	○	支援していきたいと考えます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪された方には挨拶・笑顔で迎え、ゆっくりくつろげるようコーヒー・お茶をお出ししています。又、写真を撮りお送りすることもあります。	○	今後も継続していきます。
	(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加し、全体で取り組んでいます。	○	今後も取り組んでいきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないことの開放感は、職員全員が認識しており、危険が生じた時には情報交換し喚起を促しています。	○	今後も安全を考慮しながら鍵をかけないケアに取り組んでいきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して入居者様の所在や様子を把握し、安全に配慮しています。	○	今後も継続していきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	例えば、裁縫箱・はさみ・編み棒など、危険ですが終了後は一所に集め、危険回避に努めています。	○	今後も、保管・管理に注意します。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	アットハット・情報・火災訓練・研修などで学習・意見交換し取り組んでいます。	○	事故防止に取り組めます。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	AEDについては、全体で学習し、救命講習についても受講している。	○	救命講習については一部受講していない者もいるため参加していきたいと考えます。定期化については、今後企画していきます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は消防局の支援を受け、年2回実施しました。その状況を運営会議・おたよりで地域・ご家族の皆様に報告、協力をお願いしました。	○	今後も継続していきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒・転落・呼吸不全等に対し、その都度話し合い対応策を立てています。	○	今後もその都度、話し合いよい方向を模索していきたいと考えます。
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化・異変時は管理者に連絡し対応しています。連絡記録や報連相ノート・月のカンファレンスで常々情報を共有し、対応・評価に心掛けています。	○	今後も情報の共有に努めていきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	作用・副作用の用紙が処方時送られており、それを確認しながら分包しています。又、いつでも確認できるよう週間ケア表に綴じ込みしています。外用薬については、薬局の協力によりリストを作成し職員がわかるようにしました。	○	今後も用法・用量・副作用について理解し服薬の支援・変化の確認に努めます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	研修会に参加し全体で確認しています。便秘対策の為、水分補給・身体を動かす・歩行するなど働きかけを行っています。	○	経過表により排泄の状況が確認できる為、記載する夜勤者で問題提起・対策ができるようお願いしています。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人一人の力に応じて支援しています。	○	2週間に一度、歯科医の定期往診があります。指導を仰いでいます。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては、業者の栄養士が管理しており内容についても、担当者と協議をしたり、お一人お一人について、食事量・内容・状態を検討しています。水分補給は間食・習慣に応じ随時行っています。	○	今後も支援していきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についてのマニュアルはあります。1月、ノロウイルスで入居者様5名・職員5名が感染に至りました。保健所連絡・指導を仰ぐと共に、吐物の処理・対応について、再度全員学習し、今後活かしていこうと確認しました。	○	今後も学習し実践していきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	シンク・調理用具の消毒、新鮮な食材・こまめな手洗いに努めています。	○	今後も衛生管理・新鮮で安全な食材の使用と管理に努めます。
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	敷地入り口部分の鎖はかけておらず、地域の方が来られて、庭の手入れなどして下さいます。	○	どなたでも親しみを持ち来て頂けるようにしていきたいと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室・居間は窓から光がよく差し込みます。入居者様のご希望で調整しています。カレンダーは皆様の手作りを毎月交換しています。生け花教室で季節の花を飾り、楽しんで頂いています。	○	今後も心地よい住まい作りを行っていきます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室なので、ご自分の時間をそれぞれ取って頂いています。又、居間のソファーでは、気の合った方同士井戸端会議されたりしています。	○	自由に心地よく時間を過ごしていただきたいと思っています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人とご家族相談の上、持参されています。整理の時は、ご本人様・ご家族様に承諾を受けながら行ったり、ご家族様が随時お持ちになりましたりしています。	○	居室はご本人様の住まいとして、居心地良く過ごして頂くよう工夫していきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室・居間に温湿度計を置き、こまめに調節しています。朝の掃除の時は、窓の開閉を行い空気の入れ換えをしています。	○	今後も換気・温度調整に努めていきます。
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを居間・居室・廊下・風呂・トイレに設置し、廊下が調理場でも確認できるようミラーも設置して、安全、自立・見守りに努めています。	○	今後も自立した暮らしが送れるよう支援していきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日常の中で、できること・できないことを見極めながら無理なく、結果ではなく楽しむことを主眼に参加して頂いています。混乱を生じないように、失敗と感ぜないよう対応しています。	○	今後も自立支援に工夫していきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭は、地域の方々がボランティアで造ってくださった物で、暖かくなったら庭作りをしようと話しています。	○	暖かい気候になれば、併設のデイサービスの利用者様と一緒に庭づくりをしていきたいと思っています。

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
88	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者の 《 》②利用者の2/3くらいの 《 》③利用者の1/3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
90	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 ○ 》①毎日ある 《 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
91	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
92	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	《 ○ 》①ほぼ全ての家族と 《 》②家族の2/3くらいと 《 》③家族の1/3くらいと 《 》④ほとんどできていない
96	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 》②数日に1回程度 《 ○ 》③たまに 《 》④ほとんどない
97	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 》①大いに増えている 《 ○ 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くいない
98	○職員は、生き生きと働いている	《 ○ 》①ほぼ全ての職員が 《 》②職員の2/3くらいが 《 》③職員の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
99	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
100	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 》①ほぼ全ての家族等が 《 ○ 》②家族等の2/3くらいが 《 》③家族等の1/3くらいが 《 》④ほとんどできていない